

## 主な意見

## 今後の検討の方向性

## 【検討の方向性について】

## ○移転計画よりも教育内容の充実を優先すべき

- ・時代は大きく変わっている。移転だけでは何も変わらない。中身が変わらないとだめ。【加藤委員】
- ・移転したからと言って教育の質が向上するわけではない。【松尾委員】
- ・移転自体は反対ではないが、まずは教育内容から検討。
- ・カリキュラムの内容に踏み込んだ根本的な改革が優先 【磯村委員・上田委員】

## 【学校の基本コンセプトについて】

## ○基本コンセプトの検討

- ・この学校の特色は何であるのか、何が優位性であるのかを考え基本コンセプトを定める必要がある。【橋委員】
- ・園芸アカデミーとして「花と緑」の両翼を担うのか否か。何をやるのか、どういうコンセプトにするのか、時間をかけて抜本的な議論をした方がいい。【上手委員】
- ・3コースを網羅した教育が受けられるのがアカデミーの強み。【上田委員】
- ・生産現場を知っていることは園芸のあらゆる分野に携わる者の基礎であり強みとなる【齋藤委員】
- ・花壇整備、公園整備も大きな需要。生産と造園が連携できるとよい。【齋藤委員】

## 【教育内容の充実について】

## 1 業界ニーズに合った教育とすべき

- ・業界を取り巻く情勢は大きく変わってきているのに、授業内容は変わっていない。教員の改革意識を向上させる必要がある。【松尾委員】
- ・基本方針にあるとおり花と緑の産業に寄与する学校にしなければならない。【松尾委員】
- ・教員は自分の専門の穴にこもっている。園芸アカデミーの教員であってよかったと思えるような改革提案を自らすべき【涌井委員】
- ・卒業生に就農してもらいたいが、花は施設整備の負担が大きい【櫻井委員】
- ・出口対策が重要。就職先を見据えた教育が必要。
- ・企業との連携を強化し、多くの就職先を確保することが魅力増進となる。【櫻井委員】

## 2 経営手法を学ぶべき

- ・生産の担い手、生花店、造園業いずれの職業もマーケティングやICT活用、経営分析能力は必須。利益が出なければ再投資はできない【磯村委員】
- ・会社を設立したと想定し、仕入れから販売まで経営者として学べるとよい【松尾委員】
- ・花業界の担い手育成は非常に厳しい。花の生産+αが必要。もう少し幅広くやらないと未来は厳しい。【齋藤委員】

## 1 基本コンセプト・教育内容を優先して検討する

## 2 現在のコンセプトを整理し見直し案を作成

資料2 基本コンセプト(たたき台)

## 3 教育内容の見直し、充実

- ・業界(花き生産、装飾、造園、流通等)のニーズを教育内容に反映
- ・経営力・企画力と主体性を培うカリキュラム策定
- ・運営体制の充実  
組織体制(事務局・教員等)の充実  
学校評価・カリキュラム策定の手法及び体制の見直し・充実

資料3 現在の授業のカリキュラム(2年間の開講科目)

### 3 商品企画力を培うべき

- ・植物の物語や歴史などの知識を応用し、商品プロデュースできる教育【磯村委員】
- ・花の効果・効用を学ぶことで高齢者や障害者に対応した店作りや商品開発に役立つ 【澤田委員】
- ・異業種を知ることによってトレンド対応できるようになる【齋藤委員】

### 4 主体性のある人材を育成すべき

- ・自発的に考える主体性のある学生の育成【柿本委員】
- ・園芸にどう携わっていきたいのか、自分がどうありたいのか軸を持っていること 【齋藤委員】
- ・お客さんの対応ができる社交性のある人材育成【齋藤委員】
- ・グローバルな視点を持ち、情勢の変化についていける人材の育成【磯村委員】

### 5 運営体制を強化すべき

- ・農政部と園芸アカデミーが一蓮托生(ワンチーム)でないと改革は進まない。学長を支える組織やサポートする体制ができていない【涌井委員】
- ・組織体制の強化と事務事業の効率的執行のための所掌事務の見直しが必要【今西学長】
- ・学校の魅力を発信し認知度向上を図る必要がある【柿本委員】
- ・評価委員をやっているが、教員の改革意識が薄い。改善点を見つけ、どう取り組むべきか考えないとダメ。【加藤委員】

## 【卒業生のフォローアップについて】

### ○円滑な就農

- ・卒業生に就農してもらいたいが、花は施設整備の負担が大きい【櫻井委員】（再掲）
- ・企業との連携を強化し、多くの就職先を確保することが魅力増進となる。【櫻井委員】（再掲）

## 【農業高校との連携について】

### ○教員・学生の相互交流促進

- ・農業高校の進学先として、実践的な技能やプロフェッショナルな技術が身につけられる場として大きな意義がある【田中委員】
- ・アカデミーと農業高校の学生交流プログラムや、農業高校+アカデミーの5年一貫カリキュラム、農業高校の課題研究授業をアカデミーの先生が教えるなど交流を深めたい【田中委員】

## 【教育環境の充実について】

### ○花フェスタをもっと有効活用すべき

- ・花フェスタ公園に新しい校舎を作って学びのフィールドにすることは高校生にとっては魅力的【田中委員】
- ・花フェスタ公園に移転すれば、都市公園に立地する唯一の教育施設として学習環境がよくなり魅力が向上する【橋委員、上田委員】
- ・花フェスタ公園に移転すれば、教員も学生も来園者の目に触れ、緊張感や達成感、モチベーションの向上につながる【今西学長】
- ・再就職に向けた社会人の学び直しができる【澤田委員】
- ・移転するだけでは体質は変わらないが、移転すると施設温室等の設備機能は充実する【櫻井委員】

## 4 卒業生のフォローアップの充実

- ・就職支援体制の充実
- ・新規就農者の支援(担い手育成支援)

## 5 農業高校との連携を強化

- ・国際園芸アカデミーでの高校生向け短期研修の実施
- ・国際園芸アカデミー教員による高校での出前講座開催
- ・職員間の情報交換促進

## 6 教育環境の充実

- ・教育の効率化に向けた実習フィールドの充実
- ・最新技術が学べる施設の充実